



2020-04-17

報道関係各位

武隈 祥太投手が ゲーム機器やおもちゃなどの購入費用として 50 万円を寄付 ～新型コロナウイルス感染拡大の影響で家族と会えない子どもたちを支援～



病院訪問時の様子（2019 年）

難病の子どもたちとそのご家族の支援を行っている埼玉西武ライオンズの武隈祥太投手が、昨年訪問した「医療型障害児入所施設・カルガモの家」（埼玉県川越市）と「慶應義塾大学病院」（東京都新宿区）にそれぞれ入所、入院している子どもたちに、この度、施設内で遊べるゲーム機器やおもちゃなどを購入するための費用として 50 万円を寄付することを決めました。

武隈投手は 2017 年から当時チームメイトだった炭谷銀仁朗選手（現・読売巨人軍）と難病の子どもたちが入所している施設への訪問活動を行っており、去年からは、難病の子どもたちとそのご家族の支援を目的とした寄付活動に取り組んでいるほか、メットライフドームでの試合にも招待しています。

一般の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、両施設に入所している子どもたちは、外出はもちろん家族との面会も叶わない日々が続いています。そうした現状を同投手が聞き、炭谷選手と「自分たちが何かできることはないか」と話し合いを行い、「自室でも遊んだり楽しんだりすることができる、子どもたちが喜ぶ」との声を施設関係者の方から受け、ゲーム機器や音楽機器、おもちゃなどの購入費用にあてる 50 万円を寄付します。

なお、本活動は公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」のご協力のもと実施いたします。

◆武隈 祥太投手コメント

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、プロ野球の開幕も延期せざるを得ない状況が続いています。そんな中、昨年訪問した際に出会った子どもたちのことを思い出しました。僕を勇気づけてくれた子どもたちが、今、ご家族とも会うことができない現状を知りました。少しでも楽しい時間を過ごすことができればと思い、炭谷さんと相談をして 50 万円ずつ寄付することにしました。開幕したら、昨年以上の結果を残してプレーで元気付けられるように精いっぱいがんばります。共に乗り越えましょう！

◆武隈投手の支援活動詳細(2019 シーズンより実施)

公式戦において同投手が「登板した試合数」と「ホールド数」ごとに1万円、さらに「自身が登板した試合においてチームが勝利した場合」には2万円を寄付します。この活動はクラウドファンディングサイト「READYFOR(レディフォー)」内特設ページで公式戦開幕にあわせ実施します。寄付金は、公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」を通して、難病を患う子どもとそのご家族の支援活動に役立てていただきます。

また、公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」を通じて、難病を患う子どもとそのご家族をライオンズ主催試合に招待します。

※2019年実績：年間2試合(各試合30名計60名)実施

1回目：4月21日(日)、2回目：7月20日(土)

※2019年の病院訪問

6月に「埼玉医科大学総合医療センター」及び「医療型障害児入所施設・カルガモの家」、
11月に「慶應義塾大学病院」を訪問

◆武隈投手 プロフィール



出身地：北海道

出身校および球歴：旭川工業高校～埼玉西武ライオンズ

生年月日：1989年11月24日

入団：2007年高校生ドラフト4位で入団

※公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」について

2010年に設立された全国の難病を患う子どもとそれを支える家族全員を応援する非営利組織です。難病を患う子どもとその家族との永続的な交流を機に、“家族”・“いのち”・“しあわせ”を社会で共に育みあう場を創出し、家族皆が心から笑顔で過ごせる時間と場、機会を提供する活動を行っています。

※当球団所属選手の社会貢献活動について

<https://www.seibulions.jp/news/detail/00003568.html>

【お客さまのお問合せ先】

埼玉西武ライオンズインフォメーションセンター TEL. (0570) 01-1950 (平日10時～18時)